

ルネサステクノロジ開発環境ソフトウェア製品 Windows Vista(R) 対応のお知らせ (1)

Windows Vista上でのルネサステクノロジ製の開発環境ソフトウェア製品の動作の確認状況と、Windows Vistaへの対応計画についてご連絡します。

1. 動作の確認状況

Windows Vistaの新機能および機能変更による影響は広範囲に及ぶと予想され、現在、いくつかの影響が判明しています。

以下に、影響問題および回避方法を示しますが、別途、評価結果をご連絡するまでの間は、お客様の責任の下でご使用になるようお願いいたします。

1.1 64ビット版 Windows Vista

・影響問題：

64ビット版 Windows Vistaでは、エミュレータ等のドライバをインストールできません。

・回避方法：

64ビット版のサポートは検討中であり、当面32ビット版での使用をお願いします。

1.2 開発環境ソフトウェア製品のインストール

・影響問題：

管理者権限でログインしても、インストール中に管理者権限を要求されることがあります。

・回避方法：

管理者権限でログインして、インストーラ/アップデートのプロパティを開き、「互換性」タブで次の設定を行なってください。

(1) "管理者としてこのプログラムを実行する"をチェックしてください。

(2) "互換モードでこのプログラムを実行する"をチェックし、ドロップダウンリストで"Windows XP (Service Pack 2)"を選択してください。

1.3 開発環境ソフトウェア製品の使用

・影響問題：

統合開発環境High-performance Embedded Workshopやフラッシュ開発ツールキットFlash Development Toolkit等の製品は、インストールしたフォルダ以下に製品の構成情報を出力していますが、Windows Vistaではエラーが表示されます。

また、Windows Aeroを使用した状態でHigh-performance Embedded Workshopでブレークポイントを設定する場合、クリックした行ではなく、他の行にブレークポイントが設定される場合があります。

なお、Windows Aeroを無効にしている場合、この問題は発生しません。

・回避方法：

管理者権限でログインして、アプリケーション(*.exeファイル)のプロパティを開き、「互換性」タブで次の設定を行ってから、使用してください。

- (1) "管理者としてこのプログラムを実行する"をチェックしてください。
- (2) "設定"の"デスクトップコンポジションを無効にする"をチェックしてください。

2. Windows Vistaへの対応計画

2.1 既存の開発環境ソフトウェア製品の評価

4月末までに評価を実施し、5月上旬にツールニュースで結果をご連絡します。

2.2 Windows Vistaへの対応

8月以降にリリースする新製品(リビジョンアップを含む)から順次対応を行なう予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。